

すべての子どもたちの  
未来を照らすともしび

# いけだ 夢燈花

緑でいっぱい「水月公園」で開催され、世界の子どもたち  
の平和と安全を願う「いけだ夢燈花」は今年で17回目。  
昨年の模様を写真で伝えつつ、イベントを主催する「特定  
非営利活動法人 北摂こども文化協会」の思いを紹介する。



昨年行われた点火式で、壇上のキャンドルに火をつける子どもたち。立石美佐子前理事長（現顧問・左から3番目）は、冒頭のスピーチで「大人には近寄らないという社会から、大人と子どもが笑顔を交わし合う社会へ」と呼びかけた

## 世代の枠を超えて お互いを育てる場所

しかし、年に一度のイベントだけでそのような関係を築くのは難しい。そこで行われているのがキャンドル作りのワークショップだ。今年も「水月公園」内の同協会が指定管理する「池田市立水月児童文化センター」で4度開催された。同イベントの成り立ちを聞いた子どもたちは実行委員が見守る中、クレヨンで思い思いにキャンドルを染める。「プリンみたいな色にするねん」「お鍋に気をつけてね」。実習室には小学生から年配の人まで、世代を超えた交流があった。「私自身、子どもの頃から地域活動に参加していて、地域の大人に見守られて育ちました。学校以外にもうひとつの居場所があったこと、学校での学びを実体験する場があったことで、すごく充実して



ワークショップではキャンドル作りや簡単なゲームで交流を深めた。顔見知りになれば、いざという時も大人が手を差し伸べやすい



いた。そういう世界を子どもたちに提供できれば」と川野さん。小学生の頃からこの場所を遊び場に、中・高校生へと成長する中で運営に参加するようになった若者もいる。定年退職後にボランティアスタッフとして参加し、子どもから元気をもらう人もいる。名称に「児童」とついてはいるが、全世代に開かれた施設なのだ。勉強の出来不出来に関係なく、まずあなたがあなたとして存在していることが素晴らしい。人と違っていても構わない。同協会は「いけだ夢燈花」や「大阪高校生演劇フェスティバル」、「和太鼓&篠笛教室」などさまざまな活動を通じて「あるがままのあなたでいい」というメッセージを子どもたちに伝えている。根底にあるのは、すべての子どもが安心して平和で、長い人生を全うできるように社会であってほしいという願いだ。



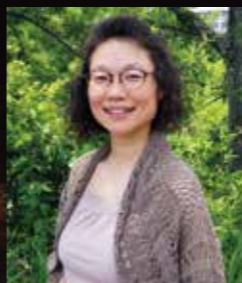
出産、育児、介護、看取りなど、子どもに命の尊さを伝える投稿エピソードから一部を朗読する「命のストーリー」。今年の投稿はメールで随時募集している。件名を「命のストーリー」と明記の上、800字以内のWordデータで提出宛先：hokusetsukodomo@wombat.zaq.ne.jp ※著作権は「特定非営利活動法人 北摂こども文化協会」に帰属

## 池田のまちから 希望の火をつなぐ

同イベントは遠く宮城県にも広がっている。イベントで使うキャンドルの一部は、宮城県下8つの養護学校の実習で作られたものだ。当時の池田市教育委員が視察に訪れたことをきっかけに交流が始まった。毎年約800個のキャンドルをもらい受けており、障がいのある子どもたちにとっては社会参加の貴重な機会だ。また2007年から仙台市でも「みやぎ夢燈花」が開催されている。偶然にも当時宮城県に暮らし、立ち上げにも関わった川野さんは「予算もない中、賛同してくださる方がいて、その縁が毎年続いていることが嬉しい。これからも池田で生まれた火が、他の地域へ広がっていけばいい

子どもたちが大人を  
信じられる社会に

灯りひとつひとつに命への祈りがと  
もる。「水月公園」グラウンドで「いけだ  
夢燈花」(以下、同イベント)が初めて開催  
されたのは2002年、「附属池田小事  
件」の翌年のことだった。「子どもたち  
が元気に過ごせる、安全なまちを大人  
の責任で作っていかうという思いから  
『いけだ夢燈花』が始まりました」と話  
すのは、同イベントを主催する「特定非  
営利活動法人 北摂こども文化協会」(以  
下、同協会)理事長の川野麻衣子さん。会  
場では毎年、幅広い年代の人々が約1  
000個のキャンドルを囲む。犠牲とな  
った幼い命の冥福を祈り、世界の子  
どもたちの平和と安全を願うためだ。  
事件以降、小学校の防犯対策が強化  
される一方で「他人を信じてはいけな  
い」というメッセージが子どもたちにく  
り返し伝えられる世の中になった。「も  
う一度地域の大人たちと子どもたちが  
つながり合い、信頼し合える関係を作  
りたい」。同じ思いを持つ池田の市民活  
動団体や協賛企業を執行委員会のメン  
バーに迎え、池田市の後援を受けなが  
ら今回で17回目を数える。



特定非営利活動法人  
北摂こども文化協会  
理事長 川野麻衣子さん

社会教育学を専攻していた大  
学院生の頃から「北摂こども  
文化協会」で活動し、「いけだ  
夢燈花」を立ち上げたひとり

など思います」と話す。  
同協会の志と多くの人のつながりで  
継続してきた同イベント。今年も8月  
26日にプレイイベントが開催され、9月  
1日に本番を迎える。キャンドルのや  
さしい光を眺めれば、きつと胸にもと  
もるものがあるに違いない。

### 取材協力

特定非営利活動法人 北摂こども文化協会

### 第17回 いけだ夢燈花 2018

日時：9月1日(土)  
15:00~20:00 ※入場無料  
会場：水月公園グラウンド、水  
月児童文化センター  
【タイムスケジュール】  
15:00 「劇団ぼこあぼこ」上演  
15:20 津田佳和氏による講演  
16:00 ワークショップ・出店  
18:00 点火式・命のストーリー朗  
読、ほのあかりコンサート・線香花火

住所：池田市鉢塚3 水月公園・水月児童文化センター(水月公園内)  
アクセス：阪急バス「水月公園前」バス停下車徒歩約5分 ※駐車場なし  
「いけだ夢燈花」と「命のストーリー」への問い合わせは  
「特定非営利活動法人 北摂こども文化協会」(TEL 072-761-9245)まで

### プレイイベント ランチタイムコンサート&カフェ

日時：8月26日(日)  
11:00~12:30  
会場：水月児童文化センター  
参加費：800円  
(要申込・先着30名)  
『池田クレモナ・モダンタンゴ  
音楽工房』演奏会  
手作りサンドイッチとコーヒー付  
申込先：072-761-9233  
(水月児童文化センター)